

(3)教育・子育て 令和5年3月末日現在

件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
留守家庭児童会について	新5年生ですが、初めて待機児童になりました。入会可能人数が変更になり、待機児童になったようですが、そのような説明がいっさいありませんでした。本当に児童会が必要な家庭を見極めてほしいです。	留守家庭児童会室では、児童の安全が確保できる体制を最優先に考え、受け入れ可能な班体制を毎年、決定しております。 定員を越えた場合でも、できるだけ多くの児童を受け入れることができるよう、臨時定員枠を設けながら柔軟に対応しておりますが、令和4年度につきましては、運営を担う職員数が特に厳しい状況となっていることから、8校の児童会室において待機が発生してしまいました。 児童会室職員の確保は喫緊の課題であり、できるだけ早期に待機児童の解消が図れるよう職員の確保に努めるとともに、入室辞退や4月以降に退室が出た場合には、待機の優先順位に応じて、随時、ご連絡させていただきます。 また、入室状況にもよりますが、校区外の留守家庭児童会室を利用していただくこともできますので、ご希望される場合は担当課までご連絡下さい。	2022/3/28	2022/4/27	放課後子ども課
児童館設立の要望について	枚方市には、未就園児が遊べる場所はあるのですが、小学生が集う場所がないと思います。学童に入っていない子たちも、室内で遊べる場所、児童館を作ってほしいです。 また、小学校低学年に限り、学童やその児童館で一時保育を受け付けてくれると助かります。子育て支援として検討してください。	近年、児童の遊び場については、不審者や安全面などに対する不安から子供たちが自由に遊べる場所が少なくなっており、また、公園はボール遊び禁止等規制も多いため、多くの保護者から子どもたちが安心して遊べる場所を作って欲しいという声をお聞きしております。 そうした子どもたちの思いや保護者の多様なニーズに応えるため、本市では現在、保護者の就労等で保育が必要な児童が利用する「留守家庭児童会室」と、全ての児童が利用できる「放課後オープンスクエア(放課後子ども教室)」を一体的に運営する総合型放課後事業を令和5年度から全小学校で実施できるよう現在、取り組みを進めているところです。 また、今年度はその準備段階として、全小学校で校庭開放を実施し、主体的で自由な発想による遊びと、遊びを通じたふれあいの機会を提供しています。こうした安全・安心で多様な活動ができる居場所を整備することで、全ての児童にとって、すこやかな成長に必要とされる自由で自主的な子どもの「時間」、安全に自由に遊べる「空間」、異年齢の集団を含む「仲間」といった「3間」の充実を図っていきたくと考えております。	2022/3/15	2022/5/10	放課後子ども課
学校での感染者発覚時の保護者への連絡について	文科省の定めるマニュアルでは、感染者が発生した学級の保護者には、感染者の生状況(確認された感染者数、感染者の登校状況)を提供すると明記されましたが、枚方市では、教育委員会から、各学校にこの通知はされているのでしょうか？	市立小中学校の新型コロナウイルス感染症に係る対応につきましては、国・府からの通知を踏まえ、本市としての対応を決定したうえで、各学校へ通知しています。現在、市立小中学校では、感染者及び学校で特定した濃厚接触者等が学級内で15%以上確認された場合は原則3日間の学級閉鎖としております。学級閉鎖を行う場合は、当該クラスの保護者の皆様へ「ミルメール」などでお知らせしております。 また、感染状況を詳しく公表すべきのご意見がある一方で、感染された方やそのご家族は、個人が特定されることで、誹謗中傷に苦むことが考えられるため、人権への配慮から、感染状況の公表は、小中学校別の感染者総数と感染者が発生した校数のみとしております。ご理解いただければ幸いです。 なお、文部科学省より示されております「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」の内容を踏まえまして、4月26日からは感染者及び濃厚接触者等が15%には満たない場合でも、約10%を目安に複数確認された学級におきましては、当該クラスの保護者の皆様や児童・生徒に対し、「ミルメール」などで情報提供を行い、「感染者等が増加している学級」として、感染予防の徹底や子どもたちの健康観察を念入りに行っていたことを呼びかける運用に改めたところです。	2022/4/9	2022/5/30	学校支援課
枚方市駅近くに子供用の図書館を作りたい件について	どの図書館も、枚方市駅からは遠く、車でしか行けません。市駅前サービススポットは、予約資料の受け渡しのみを行う分室で、子供が自分で選ぶ体験ができる図書館を、枚方市駅周辺に作っていただけたら、子育て世代がもっと図書館を利用したくなると思います。	本市では、自分で読みたい図書を選ぶ機会を、積極的に設けられるよう、市内の各図書館にてお子様に図書に触れていただけるイベント等を実施しております。一方、枚方市駅前サービススポットにつきましては、スペースの関係で予約資料の貸出に特化したサービスとなっておりますが、現在進めております枚方市駅周辺再整備においては、図書館機能の充実に向けた取り組みも行ってまいります。 枚方市駅から直結のアクセスを活かして、お子様も含めできるだけ多くの市民の皆様にご利用いただけますよう、開架図書の蔵書数も含めて検討しているところであり、充実した図書館機能の整備に取り組んでまいります。	2022/5/13	2022/5/30	中央図書館
土曜日の学童保育について	土曜日仕事のため、平日と変わらない時間帯に帰宅しています。保育園・幼稚園までは、土曜日の子どもの預かりはあるのに、小学校に上がると、土曜の子どもの預かりが月1回だけになる理由は何なのか、費用がかかるのであれば値上げしても預かれるようにしてもらいたいです。働く女性にとって土曜、祝日の勤務は切実な問題です。ぜひ前向きにご検討頂ければと思います。	土曜日の留守家庭児童会室につきましては、これまで利用者が少なかったため、通年での開室は行わず、臨時開室として年10回程度、開室しています。 近年では、保護者の就労形態の多様化に伴い、土曜日や三季休業期のみの利用希望や放課後の児童が安心して遊べる場所を作って欲しいという声も増えてきております。こうした多様なニーズに応えるため、保護者の就労等で保育が必要な児童が利用する「留守家庭児童会室」と、全ての児童が利用できる「放課後オープンスクエア(放課後子ども教室)」を一体的に運営する総合型放課後事業を、令和5年度から全小学校で実施いたします。 現時点での「放課後オープンスクエア」の取り組み内容は、参加対象児童は実施小学校に通う小学1年生から6年生の児童全員とし、開室日と開室時間は、平日は授業終了後～17時、土曜日は9時～17時(「枚方こどもいきいき広場」の実施時間帯を除く。)、三季休業期は9時～17時(いずれも10月～3月の冬季期間は16時30分まで)です。また、利用料は無料(保険料等実費負担あり)で、活動場所は余裕教室等や特別教室、校庭、体育館等も利用する予定です。土曜日開室することで、子どもたちの居場所を一体的に整備することで、すこやかな成長に必要とされる自由で自主的な子どもの「時間」、安全に自由に遊べる「空間」、異年齢の集団を含む「仲間」といった「3間」の充実を図ってまいります。 事業の詳細が決まりましたら、広報ひらかたや市ホームページ等でお知らせしてまいります。	2022/4/20	2022/6/21	放課後子ども課

(3)教育・子育て 令和5年3月末日現在

件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
市政運営方針における子育て環境の充実と教育環境の充実について	市の魅力は感じますが子どもへの補助が少ないです。塾代や習い事代(水泳や体操など)に使用できるクーポンを配布し子どもの育成と市の魅力発信としてPRしてははどうでしょうか。	本市では、人が主役の「暮らしくなるまち」を目指し、定住促進や人口誘導、少子化対策など、さまざまな施策を進めており、特に子育て環境や教育環境の充実に向けた取り組みは重点施策と位置付け、新たな臨時保育室の開設や放課後の安全な居場所づくりのほか、学校施設の整備や英語教育の充実などの取り組みを進めているところです。 ご提案いただきました塾代や習い事への助成につきましては、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、子どもたちの学力や学習意欲、個性や才能を伸ばすことを目的に、支援に取り組み自治体があることは認識しております。自治体によって支援のあり方は様々ですが、本市におきましても、いただいたご意見を参考にしながら、さまざまな子育て支援、子どもの育ちに寄与する施策を進めてまいります。	2022/5/28	2022/6/21	子ども青少年政策課
小学校の冷房について	娘が学校より、今年は電気代が高いので、できるだけ冷房を使わないと言われたそうです。もし、それが本当でしたら、市からの指示なんですか？	エネルギー価格の高騰により、学校を挙げての節電活動が急務となっていたことから、電気使用量の削減に向けた取り組みの一つとして、各学校に対し、空調機器等の適切な運用を呼びかけておりました。 具体的には、教室での使用は午前7時から午後4時まで、また、授業終了後には電源をオフにすることなどをお願いしたもので、冷房の使用を控えるよう依頼したものではありませんが、今回のご指摘を受けまして、教育委員会としましても、様々な機会をとらえ、学校に対し、改めて周知を図ってまいります。 電気料金の高騰は危惧的な状況にはありますが、まずは子どもたちの健康と学習環境の確保を第一に考え、今後も学校と連携を図りながら、効果的な節電対策に取り組んでまいります。	2022/6/3	2022/7/4	新しい学校推進課
来年度以降の支援教育について	文科省と府教育委員会は支援教育の在籍条件を「3時間以上/日を目安として」と説明し、市議会議員にもそのように事後報告しているにも関わらず、保護者へは在籍条件として「3時間以上/日」を求める手紙を渡し、来年度のことを今月末までに判断するよう迫っておられます。	ご指摘を受けまして「週の授業時数の半分以上(1日2～3時間以上)」と表記している部分については、「原則として、週の授業時数の半分以上を目安(1日3時間程度)」に改め、また、次年度からの入級を希望される場合は、前年度の「6月末までに」に在籍している学校へ相談していただくよう通知しておりましたが、「1学期の懇談等で学校の先生方とご相談ください」に内容を変更し、6月中旬に保護者の皆様へ改めてご案内させていただきました。保護者の皆様にご心配をおかけしましたことを、お詫び申し上げます。 本市の支援学級に対する考え方につきましては、改めて保護者説明会を開催させていただき、就学にあたっての十分な情報提供に努めるとともに、丁寧な説明を行ってまいります。	2022/6/5	2022/7/4	児童生徒支援課
保育園に通えない「無園児」を抱える孤独な親の現状について	保育園などに通っていない無園児は2022年時点で全国に145万人いるといわれています。無園児を抱える親は子育てで孤立し、追い詰められてしまうこともあるとニュースで取り上げられています。保育園を、保育を必要とする全ての子どもや親のセーフティネットとして開口を広げていく必要があるのではないのでしょうか。待機児童問題が解消している地域がありましたら、誰もが週3か4日からでも保育園を利用できるようにしていただけたらと願います。	本市における保育認定要件には、「就労」のほか、「出産」や「疾病」、「求職活動」など複数の項目があり、世帯の状況に応じてご案内しております。本市では、定員を超えた場合でも、弾力的に受け入れを行っておりますが、それでもなお、希望する施設を利用できない児童が発生していることから、入所要件の緩和は難しい状況にあります。 そのため、在宅で子育てされている方への支援として、「一時預かり事業」のほか、乳幼児の親子のために室内のあそび場を提供する「地域子育て支援拠点事業(おやこの広場)」、援助の必要な子育て家庭に預かりや送迎のサポートを行う「ファミリーサポートセンター事業」等、様々な取り組みを実施しています。 また、長引くコロナ禍の影響で、育児疲れを感じておられる方が増えているとのご意見もいただいております。家庭での育児負担を軽減するため、3歳未満のお子様を在宅で子育てされている方を対象に、保育所(園)等の一時預かりを無料で2日間体験できる「一時預かりリフレッシュ券」を令和4年9月より、新たに導入する予定です。本事業をご利用いただくことで、親御様自身もリフレッシュしていただき、より安定したお気持ちで子育てを楽しんでいただけたらと考えております。 いただきましたご意見も参考に、今後も子育て支援の充実に取り組んでまいります。	2022/6/16	2022/7/8	保育幼稚園入園課 私立保育園幼稚園課
子育て支援センターの利用人数について	コロナウイルス対策により子育て支援センターが予約制になり、利用者人数に制限が設けられています。現在の予約人数はコロナウイルスの蔓延が始まった頃と同じままではないのでしょうか。一度支援センターの利用者人数が適切であるか見直していただけないでしょうか。	新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、就学前施設の集団感染が複数発生していたことから、まずは感染拡大の防止を最優先に考え対応してまいりました。 感染状況はまだまだ予断を許さない状況が続いておりますが、一方で、今後も室内で遊べる環境を確保していくことは重要であると考えております。現在、受入組数の見直しなど、皆様が一日も早く安心してご参加いただける時期及び手法を検討しているところです。 運用を変更することとなりましたらホームページ等でご案内させていただきます。	2022/6/19	2022/7/21	私立保育園幼稚園課
子ども医療費助成について	枚方市では15歳まで医療費の助成をしていただいていると思います。しかし、他の市町村では18歳まで対象としているところが多くなってきました。将来的に対応いただけるよう検討いただけないでしょうか。	新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、就学前児童施設の集団感染が複数発生していたことから、まずは感染拡大の防止を最優先に考え対応してまいりました。 感染状況はまだまだ予断を許さない状況が続いておりますが、一方で、今後も室内で遊べる環境を確保していくことは重要であると考えております。現在、オミクロン株の状況も踏まえ受入組数の見直しなど、皆様が一日も早く安心してご参加いただける時期及び手法を検討しているところです。 運用を変更することとなりましたらホームページ等でご案内させていただきます。	2022/6/19	2022/7/1	医療助成課

(3)教育・子育て 令和5年3月末日現在

件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
幼稚園について	保育園を申し込みましたが、待機となりバスのない幼稚園に入園しました。距離があり、送迎は徒歩ではなく自転車です。待機児童を早く解消してください。	本市では、通年の待機児童ゼロを目指して入所定員の拡大を図るなど、これまで様々な取り組みを進めてきました。そうした中、昨年度からは、一時預かり事業の空き枠を活用して待機児童を受け入れる「就労応援型預かり保育」にも取り組んでおります。 また、年度途中の転入や育児休業明けの保育ニーズにも対応し、仕事と子育ての両立を支援するため、令和3年10月に開設した蹠陀西臨時保育室に加え、渚西保育所跡施設を活用した渚西臨時保育室を、令和4年の秋に開設予定です。 こうした取り組みを通して、保育を必要とされる方々に様々な選択をしていただけるよう、今後も引き続き、取り組みを進めてまいります。	2022/6/30	2022/7/29	私立保育幼稚園課
小学生のマスク着用について	小学生の子が教室内で熱中症になりました。マスクの着用は自由です。学校において、マスクをしない子どもを差別や偏見から守り、マスクを着用しないことを注意しないようにして頂きたいです。	気温や湿度が高い中でマスクを着用することは、熱中症などの健康被害が発生するおそれがあり、命に関わる危険もございます。そのため、各学校では、人との距離が十分に確保できる場合や、暑さで息苦しさを感ずる場合などには、マスクを外すよう声かけを行っています。子ども達自身が息苦しいと感じた時などには、マスクを外すなどの対応を子ども達自身でも判断できるよう、メリハリのある声かけを改めて行ってまいります。 また、マスク着用に関する考え方の違いから、子ども達が偏見や差別を受けることがないように、十分に配慮した指導を行うことを、再度周知徹底してまいります。	2022/7/1	2022/8/1	教育指導課
中学校のクラブ活動について	中学校で水泳部に入りたいのですが、自分が通う中学校に水泳部がありません。市内の中学校が集まった合同の水泳部を作ってほしいです。	現在、部活動は学校独自のルールに基づいて運営されていますが、「指導できる顧問の先生がいない」「必要な参加者が集まらない」などの理由から、学校に設置される部活動は様々です。入りたい部活動がなく、残念な思いをされている生徒がいる状況を改善するため、学校での部活動を地域のスポーツクラブなどに協力してもらいながら、地域での取組みに変えていくことができないか、現在検討しております。まずは土日にを行う部活動から試験的に始めていきたいと考えています。	2022/7/11	2022/8/10	教育指導課
物価高騰における子育て世帯への支援について	平均的な収入のある世帯(住民税課税世帯)にももう少し目を向けて頂きたい。生活は毎月余裕も無く厳しい中での生活が続いています。どうか子育て世帯へ制限の無い平等な対応をご検討下さい。	本市では安心して楽しく子育てできる環境の充実をまちづくりの重点施策に位置付け、課税状況に関わらず第2子以降の保育料無償化(0～2歳)や世帯単位での子ども医療費助成など、他市にない子育て世代の負担軽減策に取り組んでいるところです。限られた財源の中で、取り組む施策は自治体によって様々ですが、コロナ禍における原油価格や物価高騰に直面する市民の皆様の影響にも目を向けながら、子育てしやすいまちづくりを更に進めてまいります。	2022/9/1	2022/9/29	子ども青少年政策課
子ども医療費助成制度の件について(同内容2件あり)	枚方市の子ども医療費助成制度の対象年齢を18歳になる年度の3月31日までに拡充してはいかがでしょうか。	本市では安心して楽しく子育てできる環境の充実をまちづくりの重点施策に位置付け、第2子以降の保育料無償化(0～2歳)や世帯単位での子ども医療費助成など、他市にない子育て世代の負担軽減策を進めております。限られた財源の中で、取り組む施策は自治体によって様々ですが、ご要望いただいた子ども医療費助成の拡充の検討を含め、子育て世代の負担軽減策を更に進めてまいります。	2022/9/7	2022/9/21	医療助成課
留守家庭児童会の長期休暇中の昼食について	留守家庭児童会室の長期休暇中の昼食について、現在は各家庭からお弁当を持ち込んでいます。今後は希望者のみでいいので業者からのお弁当配達を検討、実施して欲しいです。	長期休暇中の昼食の提供については、保護者会等からも有料昼食サービス導入のご要望をいただいております。衛生面やアレルギー対応等の課題が多く、現時点では、導入に至っておりませんが、今回いただいた要望を含め、今後も保護者ニーズを汲み取りながら、実施可能なサービスから取り組むとともに、検討を進めてまいります。	2022/8/29	2022/10/3	放課後子ども課
子どもの遊び場について	子どもの遊び場がほとんどありません。学校開放は早く閉まってしまうので遊べません。小学生はどこで遊べばいいですか。	本市では、令和5年の4月から、すべての小学校で「放課後オープンスクエア」を実施します。これは、教室や運動場など学校の一部を開放して、みんなが考えて、自由に遊んだり、学んだりできる放課後の居場所をつくるために取り組むものです。使用できる時間は、平日は学校の授業が終わってから午後5時まで(10月から3月は午後4時30分)となります。ここでは、ボール遊びをすることも可能ですので、ご利用ください。	2022/10/5	2022/11/11	放課後子ども課
保育所・幼稚園への警備員配置について	市内の保育所・幼稚園へ、子供たちの安全のために警備員を配置してはいかがでしょうか。	本市では、市内にあるすべての公立保育所・幼稚園において、園児を狙った犯罪から子ども達を守るため、園内に防犯カメラを設置するとともに、機械警備も導入するなど、防犯体制の充実に取り組んでおります。門扉については、電気錠で常時施錠し、人の出入りがある際にはインターホンとカメラで確認してから開錠するなど、訪問者の確認を徹底しております。さらに、各施設では、万が一に備えて、不審者が侵入した際の対応マニュアルを作成するとともに、有事を想定した訓練も行っております。 また、私立保育所等におきましても、門扉のオートロックや国の補助金を活用して防犯カメラ、非常通報装置の設置、外部からの侵入を防ぐためのフェンス等の外構整備など、各施設の状況に合わせた防犯対策を講じられるとともに、公立保育所と同様、マニュアルを作成し、不審者の侵入に対応した訓練等を行われております。 今後も、各施設の状況に合わせて、さらなる防犯対策に取り組んでまいります。	2022/10/9	2022/11/30	公立保育幼稚園課 私立保育幼稚園課

(3)教育・子育て 令和5年3月末日現在

件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
小中高校の歴史授業について	歴史の授業について、先生方はどのような事実に基づき生徒に教えていらっしゃるのでしょうか、中学高校で使用されている社会、とりわけ歴史公民の教科書の選定された理由を聞かせてほしい。	学校教育は、文部科学省が示す学習指導要領に基づいて指導することから、歴史教育においても、主体的、対話的で深い学びを念頭に、知識・技術の習得に偏重することなく、多面的、多角的な考察ができるような授業展開が求められています。そのため、教員の授業実践の質の向上に向けて研修を実施しております。本市が使用する教科用図書につきましては、学校教育法に基づく教科書選定制度により審査され、合格した教科用図書の中から、採択権者(教育委員会)としての権限と責任のもと、法規・法令に則り適正かつ公正に採択しております。なお、採択経緯につきましては、行政資料コーナー及び本市ホームページにおいて公開しております。	2022/10/11	2022/12/6	教育指導課
感染不安で登校していない児童のオンライン授業の出席停止について	コロナ感染予防でオンライン授業を受けた場合でも、不登校の児童と同じように、出席を認めていただきたいと願います。	オンライン授業を受けておられるお子様につきましては、新型コロナウイルスへの感染不安で登校することができない状況を鑑み、校長が出席停止と認めたとえ、欠席ではないと判断し、登校できなかった日数は「欠席日数」として記録しないこととしております。児童生徒の頑張りや認めることは、通知表の中で各教科の学習についての評価や所見の記載等で認められるよう学校としても取り組んでおり、また、学校は、保護者から欠席させたい事情をよく聴取し、学校で講じる感染症対策について十分説明するとともに、学校運営の方針についてご理解を得るよう努めてまいります。	2022/10/29	2022/12/19	教育指導課
学校における過剰な感染対策について	小学校におけるマスク強制、黙食、学校行事制限を至急撤廃してほしい。	マスクの着用につきましては、児童・生徒が息苦しいと感じる時や人との距離が十分に確保できる場合などには、マスクを外すよう声掛けを行っているところですが、ご家庭によって様々な考え方があり、各学校もバランスをとりながら学校運営を行っているところです。また、給食の時間につきましては、国・府からの通知に基づき、12月12日から「黙食」とする必要はないこととしました。各学校の感染状況に応じて、給食が楽しい時間となるよう工夫し、子どもたちにとってかけがえのない学校生活が有意義なものとなるよう、今後も努めてまいります。	2022/11/2	2022/12/27	教育指導課
樟葉小学校と樟葉北小学校の学校区改善依頼について	樟葉の小学校区について改善を求めます。樟葉北小学校と樟葉小学校では倍以上全校生徒の数に差があります。その原因の一つには学校校区に問題があると考えております。時代に合わせた学校区の選定と、未来ある子どもたちに平等な小学校生活を送れるよう改善していただければ幸いです。	本市では、子どもの健全育成や学習指導を第一義に、義務教育の教育環境面における公平性を確保し、教育環境の整備・向上を図る観点から「枚方市学校規模等適正化基本方針(改定版)」を定めております。市立小学校の適正な学校規模の基準を18学級とし、また、学校の現状を考慮し、適正な学校規模の範囲を小学校では12学級以上24学級以下としています。現在、樟葉小学校は23学級、樟葉北小学校は11学級で、樟葉小学校は適正規模の範囲内となっております。樟葉北小学校は、適正規模の範囲をわずかに下回っておりますが、今後の人口推移では、両校とも適正な学校規模の範囲で推移する見通しとなっております。今後も引き続き、両校区の状況を注視しながら、子どもたちの教育環境の整備・向上に努めてまいります。	2022/11/11	2022/12/7	新しい学校推進室
公立保育所で英語の時間を取り入れてほしい	枚方市の公立保育所に子供を預けています。公立保育所でも週1回でも月2回でもいいので英語を取り入れてはどうでしょうか。	幼児期からの多様な体験の一つとして、異文化への理解や国際的に広く話されている英語に触れることは、子どもの育ちにおいても大切です。英語を身近に感じてもらうために、どのような取り組みができるかなど含めて、今後の保育運営の参考とさせていただきます。	2022/12/19	2023/1/17	公立保育幼稚園課
学校・幼稚園でのマスク着用を選択する権利について	大阪府教育委員会から、小学生以上の子どもに関してはマスクの着用条件の緩和、未就学児へはマスクの着用の自由化が通達されているにも関わらず、おかしな状況が続いています。マスクを着用するかどうかで差別しないことをHP上に明記、各家庭向けに教育委員会からの通達を手紙で出してください。	学校園におけるマスク着用につきましては、子ども達への心情等に配慮を行った上で、マスクの着用が不要な場面や熱中症などの健康被害が生じうる場合において、積極的に外すよう促すといった、活動場所や活動内容に応じてメリハリのあるマスクの着脱を行うよう声かけております。また、給食の時間におきましても、「黙食」とする必要はない旨を全市立小中学校に通知しており、各学校の感染状況に応じて給食が楽しい時間となるよう工夫しています。様々な理由からマスクの着用を希望する子ども達がいること等を踏まえ、マスク着用に関する考え方の違いから、子ども達が偏見や差別を受けることがないように留意してまいります。	2023/1/8	2023/1/31	学校支援課 おいしい給食課 公立保育幼稚園課
保育園の選考について	今回4月復職に向けて、一次選考で希望した保育園に入れませんでした。子どもが増えている楠葉エリアに保育園を誘致できるように市として土地の確保や建設費などの費用面の援助をし、市民に受け入れられる良質な保育園をつくるべきではないですか。	本市では、より保育の必要な家庭に施設をご利用いただけるよう、令和5年4月入所分からの入所手続きを見直したところですが、特定の施設を希望される場合やクラス年齢によっては入所が難しくなるケースも発生しております。特に楠葉地域では保育需要が高い実態をふまえ、緊急待機児童対策として、令和5年4月より、すだち保育園の定員増と樟葉幼稚園3歳児クラスの定員増を行うほか、くすは光の子保育園を活用した、臨時保育室の開設準備も進めているところです。	2023/1/27	2023/2/20	保育幼稚園入園課

(3)教育・子育て 令和5年3月末日現在

件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
病児保育の利用料の減額について	枚方市で、病児保育利用料の減額を検討していただきたい。	<p>病児保育の利用料につきまして、本市では利用料の減額は行っておりませんが、他市に比べて手厚い減免制度を運用しております。</p> <p>このほか第2子以降の保育料無償化など、他市にない子育て世帯の負担軽減策に取り組んできたところで、今年8月からは子ども医療費助成の対象年齢を拡充する予定としております。</p> <p>限られた財源の中で、取り組む施策は自治体によって様々ではありますが、ご提言いただいた内容につきましては、他市の状況や利用実態、施策の有効性等を踏まえながら、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>	2023/2/3	2023/3/15	私立保育幼稚園課
保育所について (同内容2件あり)	<p>保育所の選考に関して、①同点数となった場合複数園記入されている方が優先されるという項目に納得がいきません。②臨時保育施設について、利用が第2希望まで保留された方となっていること③第2子第3子の保育料無料を掲げている枚方市に利用料が発生することが納得できません。</p>	<p>本市におきましては、より保育の必要なご家庭が施設を利用できるよう令和5年4月入所分からの入所手続きを見直したところです。</p> <p>きょうだいと同じ保育所(園)の利用を希望されるのは当然のことであり、きょうだいを同じ保育所(園)に通わせたいのご希望に少しでも寄り添えるよう、利用調整における調整指数として加点するほか、同点となった場合の優先項目にも位置付けるなどの条件整備を行っております。</p> <p>「申込み希望園数が多い世帯」を優先して利用調整を行うかどうかは、基礎指数に調整指数を加点しても同点であり、かつ「きょうだいを利用または同時に申請している」という条件でも同じ場合にのみ適用するものであり、必ずしも多くの園を希望した方が優先されるというものではありません。保育を必要とされる世帯を判断するために、基準を設ける必要があることをご理解いただきますようお願い致します。</p> <p>また、臨時保育室につきましては、あくまでも待機の間、臨時的にご利用いただくための施設であることから、「2施設以上申し込んだが保留となっている」ことを条件とし、認可保育所(園)等の利用を優先して検討いただいております。保育料につきましては、非課税世帯及び3～5歳児は国の無償化の対象となり、給食費のみを実費負担していただいておりますが、様々なご意見があることから、今後も利用状況等を踏まえて検討を進めてまいります。</p>	2023/2/15	2023/3/10	保育幼稚園入園課
留守家庭児童会の保育料について	留守家庭児童会の保育料は、なぜ多子世帯全体を条件とせず、同じタイミングで入室している場合のみ保育料が減額となるのでしょうか。	<p>本市では、国の利用者負担の考え方に即し、留守家庭児童会室運営に必要な経費の一部を利用者にご負担いただいております。</p> <p>2人目からの保育料につきましては、多子世帯への毎月の総負担額を軽減する観点から半額の月額3,600円としており、ご意見にありましたような多子世帯全体の負担軽減は行っておりません。より良い保育環境を整えていくため、今回いただきましたご意見も踏まえ、今後も事業の在り方について検討を進めてまいります。</p>	2023/2/24	2023/3/22	放課後子ども課